

## R&I 年金ユニバース・パフォーマンス

### 18年度第1四半期 1.01%、貿易摩擦や地政学的リスクへの過度な懸念後退

格付投資情報センター 資産運用コンサルティング事業部

格付投資情報センター（R&I）の運用評価サービスの対象である、確定給付企業年金等の2018年度第1四半期（18年4月～6月）の時間加重収益率の平均は、生保一般勘定を含む資産全体で1.01%（推定値、加重平均）となり、17年度第4四半期（18年1月～3月）のマイナス1.25%からプラスに転じた。米国と中国の貿易摩擦や北朝鮮の地政学的リスクなどへの過度な懸念が後退、堅調な企業業績にも支えられ内外株式が上昇、米利上げ継続見通しの高まりで為替のドル高円安効果なども寄与した。

当該四半期の主要4資産の市場インデックスの騰落率で見ると、外国株式が6.65%と最も上昇し、国内株式が1.05%、外国債券が0.76%、国内債券が0.20%の順だった。

外貨建て資産の円通貨ベースの騰落率における為替効果は、外国株で2.63%分、外国債で1.05%分プラスにはたらいだ。当該四半期の主要3通貨の対円の為替変化率は、ドルがプラス4.15%、ユーロはマイナス1.12%、ポンドはマイナス1.98%であった。

R&I集計データの平均時価構成比は、2018年5月末時点で、国内株10.9%、国内債30.3%、外国株14.0%、外国債7.3%、オルタナティブ投資12.1%、短期資金6.0%、生保一般勘定19.4%。市場の変動幅が相対的に大きい内外株の割合は、年金資産全体の4分の1程度となっている。

R&Iでは、約100の確定給付企業年金等が委託する信託銀行・生命保険会社・投資顧問会社など約2000ファンドのデータを基にパフォーマンス計測・分析サービスを実施しており、時価総額は約9兆円の規模である。

今回の推定は4～5月までは実績を利用し、6月は5月末の平均時価構成比に、6月の各資産の市場インデックス騰落率を反映させ算出した。

### 市場インデックス騰落率(%)

	国内株式	国内債券	外国株式	外国債券
4月	3.55	-0.07	4.19	1.21
5月	-1.67	0.23	0.17	-2.46
6月	-0.76	0.04	2.18	2.07
<b>第1四半期 (4～6月)</b>	<b>1.05</b>	<b>0.20</b>	<b>6.65</b>	<b>0.76</b>

国内株式: TOPIX(配当込み)

国内債券: NOMURA-BPI総合

外国株式: MSCI-KOKUSAI (税引き前・配当再投資、円ベース)

外国債券: FTSE世界国債インデックス (日本除く、円ベース)

- 本資料は、お客様の運用戦略や投資判断等の参考となる情報の提供を目的として作成されたものであり、実際の投資等に係わる最終的な決定は、お客様自身のご判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 本資料は、該当運用機関の運用戦略・手法に係るR&I評価情報の提供を目的にしたもので、信託受益権の合同口を除く有価証券の投資助言を目的にしたものではありません。
- シミュレーションやバックテスト等は参考データをご提供する目的で作成したものであり、将来の利回りを保証するものではありません。
- データの一部は、弊社が信頼できると判断した各種情報源から入手した情報等に基づくものですが、その情報の正確性・確実性について弊社が保証するものではありません。
- 本資料は、作成日において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後予告なく変更となる場合がございます。
- 本資料に関する一切の権利は、引用部分を除き弊社に属し、いかなる目的であれ本資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。
- 投資評価本部における業務は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。
- 弊社が発行する「年金情報」、「ファンド情報」等の媒体にて掲載された事項及び「R&Iファンド大賞」と、本資料において提供された情報は、それぞれ独立のものであり一致するものではありません。
- 本資料の内容に関して、ご不明な点等がございましたら、弊社担当者宛にご照会くださいますようお願いいたします(資産運用コンサルティング事業部 03-6273-7304)。

株式会社格付投資情報センター  
東京都千代田区神田錦町三丁目22番地 テラスクエア  
【金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長(金商)第665号】  
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会